

影アナ原稿テンプレート 対バン・イベント用（ライブハウス）

下線の部分を自分の公演に置き換えて
そのまま読める台本。秒数は1分300字換算

公演名（イベント名）

日付・会場

読む人・場所（袖マイク／PA
卓）

きっかけ（BGMダウン→暗転
→SE）

場面別の原稿（上から時系列。使わない場面は飛ばしてOK）

開場中（開演15分前） 開場して客入れが落ち着いたころ。BGMを少し下げて読む

約163字・約35秒

「本日は「イベント名」にご来場いただき、誠にありがとうございます。本日は 〇 組のアーティストが出演いたします。開演は 〇時〇分 を予定しております。各出演者の物販は 場所 にて、開演前から行っております。お荷物はロッカーまたはクロークをご利用のうえ、お飲み物はドリンクカウンターにてお引き換えください。開演まで、今しばらくお待ちください。」

対バンは「何組出るか」「物販はどこか」、ワンマンは「公演名を正確に」「グッズは開演前に」が要点。注意事項はまだ読まず、開演5分前にまとめて読むと聞き流されにくい。

開演5分前（注意事項） 開演の5分30秒前から読み始め、4分前に読み終わる。会場の規定文言があれば優先

約259字・約50秒

「まもなく開演のお時間です。開演に先立ちまして、お客様にお願い申し上げます。会場内での録音・録画、および許可のない撮影は固くお断りいたします。携帯電話・スマートフォンは、電源をお切りいただくか、マナーモードに設定してください。会場内は禁煙です。喫煙は所定の場所をお願いいたします。ステージ前方では、押し合いなど、周囲のお客様のご迷惑となる行為はおやめください。ご気分がすぐれない場合は、無理をせず、お近くのスタッフにお声がけください。また、非常口の位置を今一度ご確認ください。本日は最後まで、ごゆっくりお楽しみください。」

撮影OKの公演は「本公演は演奏中のスマートフォンでの写真撮影を許可しております。フラッシュ・動画の撮影・録音はご遠慮ください」に差し替える（下のパーツ集参照）。ライブハウスは飲食OKが多いので、ホール原稿の「客席内での飲食はご遠慮ください」は読まない。

開演直前（まもなく開演） 開演の1分前。読み終わったらBGMダウン→暗転→SE。15秒以内に短く

約51字・約10秒

「大変お待たせいたしました。まもなく開演です。トップバッターは「出演者名」。盛大な拍手でお迎えください。」

対バンで出演者名を読むかは主催の演出次第。SE（出囃子）で登場するバンドは、影アナで名前を呼ばれると登場の驚きが薄れるので、事前に出演者へ確認しておく。

開演が押したとき 定刻の1～2分前に、遅れが確定した時点で読む。理由は短く、謝罪は一度だけ

約70字・約15秒

「開演時刻についてご案内いたします。機材調整のため、開演を 〇 分ほど遅らせていただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、今しばらくお待ちください。」

「機材調整のため」は汎用の理由。押しが読めないときは分数を言わず「準備が整い次第、開演いたします」にする。押し・巻きの考え方は「押し」「巻き」とはの記事へ。

転換中（対バン形式のみ） 前の出演者の演奏が終わり、BGMが上がった直後。転換の残り時間が読めているとき

約109字・約20秒

「出演者名」の演奏でした。ありがとうございました。ただいまステージ転換中です。次の出演は「次の出演者名」、〇時〇分 からを予定しております。お飲み物・お手洗いは、この時間にお済ませください。物販は 場所 にて行っております。」

ワンマンでは不要。2部制で休憩を挟むなら下の休憩原稿を使う。押ししているときは開始予定時刻を言わず「準備が整い次第」とする。

終演 最後の出演者（アンコール）が終わり、客電が上がってBGMが流れた直後

約161字・約30秒

「本日の公演は、すべて終了いたしました。ご来場、誠にありがとうございました。出演者の物販は、このあと 〇時 まで 場所 にて行っております。ぜひお立ち寄りください。お忘れ物のないよう、お足元にお気をつけてお帰りください。なお、会場周辺での長時間のお立ち止まりや、近隣のご迷惑となる行為はご遠慮ください。本日はありがとうございました。」

「すべて終了いたしました」がアンコール待ちの手拍子を止める合図になる。もう1回アンコールをやる可能性があるなら、出演者と「終演アナウンスのきっかけ」を必ず決めておく。

物販・特典会の案内 開場中に1回、終演直後に1回。長くしない（15～20秒）

約67字・約15秒

「ご来場のお客様にご案内いたします。出演者の物販を 場所 にて行っております。開演後は混み合いますので、開演前のご利用をおすすめいたします。」

物販の売上は「開演前の一言」で大きく変わる。物販の準備と当日運用はライブ物販の作り方の記事へ。

読み方のコツ： 思っている1.5倍ゆっくり・少し低め・短く区切る。「5分前」は5分30秒前から読み始める。非常口の文言は会場規定が最優先。原稿の作り方・定型文・秒数早見表：set-zu.jp/word/kage-ana-toha/

公演名（イベント名）	日付・会場	読む人・場所（袖マイク／PA卓）	きっかけ（BGMダウン→暗転→SE）
------------	-------	------------------	--------------------

■ 場面別の原稿（上から時系列。使わない場面は飛ばしてOK）

開場中（開演15分前） 開場して客入れが落ち着いたころ。BGMを少し下げて読む

約157字・約30秒

「本日は「アーティスト名 ワンマンライブ『公演名』」にご来場いただき、誠にありがとうございます。開演は〇時〇分を予定しております。オフィシャルグッズは場所にて販売中です。開演後は販売を一時中断いたしますので、お早めにお求めください。お荷物はロッカーまたはクロークをご利用ください。開演まで、今しばらくお待ちください。」

対バンは「何組出るか」「物販はどこか」、ワンマンは「公演名を正確に」「グッズは開演前に」が要点。注意事項はまだ読まず、開演5分前にまとめて読むと聞き流されにくい。

開演5分前（注意事項） 開演の5分30秒前から読み始め、4分前に読み終わる。会場の規定文言があれば優先

約246字・約50秒

「まもなく開演でございます。開演に先立ちまして、お客様にお願い申し上げます。本公演では、写真・動画の撮影、および録音を禁止しております。携帯電話・スマートフォンは電源をお切りいただくか、マナーモードに設定し、演奏中のご使用はお控えください。会場内での喫煙、ステージ前方での押し合い、モッシュ・ダイブなどの危険な行為は固くお断りいたします。ご気分がすぐれない場合は、無理をせず、お近くのスタッフまでお申し出ください。非常口の位置を今一度ご確認ください。それでは、開演まで今しばらくお待ちください。」

撮影OKの公演は「本公演は演奏中のスマートフォンでの写真撮影を許可しております。フラッシュ・動画の撮影・録音はご遠慮ください」に差し替える（下のパーツ集参照）。ライブハウスは飲食OKが多いので、ホール原稿の「客席内での飲食はご遠慮ください」は読まない。

開演直前（まもなく開演） 開演の1分前。読み終わったらBGMダウン→暗転→SE。15秒以内に短く

約22字・約5秒

「大変お待たせいたしました。まもなく開演です。」

対バンで出演者名を読むかは主催の演出次第。SE（出囃子）で登場するバンドは、影アナで名前を呼ばれると登場の驚きが薄れるので、事前に出演者へ確認しておく。

休憩（幕間） 2部制・発表会形式のとき。休憩に入るときと、再開5分前の2回

約85字・約15秒

「ただいまより、〇分間の休憩に入ります。再開は〇時〇分を予定しております。お手洗い・お飲み物は、この休憩時間をご利用ください。再開の際は、アナウンスにてお知らせいたします。」

再開5分前は「まもなく再開いたします。お席を離れているお客様は、お早めにお戻りください」の一言でよい。

終演 最後の出演者（アンコール）が終わり、客電が上がってBGMが流れた直後

約138字・約30秒

「本日の公演は、すべて終了いたしました。ご来場、誠にありがとうございました。オフィシャルグッズは、このあとも〇時まで場所にて販売しております。お忘れ物のないよう、お足元にお気をつけてお帰りください。次回公演は〇月〇日、会場名にて開催いたします。本日は誠にありがとうございました。」

「すべて終了いたしました」がアンコール待ちの手拍子を止める合図になる。もう1回アンコールをやる可能性があるなら、出演者と「終演アナウンスのきっかけ」を必ず決めておく。

終演（規制退場があるとき） 終演アナウンスに続けて。ブロックの呼び出しは進行を見ながら生読み

約138字・約30秒

「本日の公演は、すべて終了いたしました。ただいまより、混雑緩和のため、スタッフの案内による規制退場を行います。アナウンスがあるまで、その場でお待ちください。整理番号・ブロックごとに、順番にご案内いたします。まず、〇〇ブロックのお客様からご退場ください。ご協力をお願いいたします。」

続きの呼び出しは「続きまして、〇のお客様、ご退場ください」を繰り返す。所要時間の目安と流れは規制退場とはの記事へ。

物販・特典会の案内 開場中に1回、終演直後に1回。長くしない（15～20秒）

約74字・約15秒

「終演後、場所にて特典会を行います。対象商品をお持ちのお客様は、スタッフの案内に従って場所にお並びください。特典会の開始は〇時〇分を予定しております。」

物販の売上は「開演前の一言」で大きく変わる。物販の準備と当日運用はライブ物販の作り方の記事へ。

ワンマンの要点：公演名は正式名称で（読み方を事前確認）。終演アナウンスはアンコールの「本当の終わり」の合図＝出演者ときっかけを決めておく。規制退場の呼び出しは進行を見ながら生読み。

注意事項の定型文（必要な行だけ原稿に足す）

項目	定型文	使う場面・メモ
名乗り	「ありがとうございます。 <u>バンド名</u> です。」	1曲目のあと。どんな型のMCでも最初はこれで始めて問題ない
会場への呼びかけ	「 <u>会場名</u> 、後ろの方まで見えてますか。大丈夫ですか。」	客席の奥まで意識を向けさせる。フロアが縦長の会場で効く
手拍子を誘う	「次の曲、手拍子いけたら一緒に叩いてください。」	曲の前に。「できたら」を付けると強制感が消える
一緒に歌ってほしい	「サビのところ、一緒に歌ってもらえたら嬉しいです。」	初見が多い対バンでは「歌える人は」と逃げ道を作る
テンポを落とす前	「ここからちょっとテンポを落として、ゆっくり聴いてください。」	緩急の合図。客席が息を整える時間になる
初見の人へ	「今日初めて観るって人、どのくらいいますか。ありがとうございます。」	挙手させると客席が能動的になる。対バン・フェスで有効
対バンへの感謝	「今日ご一緒した <u>対バン名</u> 、素晴らしい演奏をありがとうございました。」	名指しが鉄則。まとめて「対バンのみなさん」は印象に残らない
スタッフへの感謝	「 <u>会場名</u> のスタッフのみなさん、PAの <u>名前</u> さん、ありがとうございます。」	PA・照明の名前は当日リハで聞いておく。呼ばれる側は必ず覚えている
SNSの告知	「「 <u>バンド名</u> 」で検索したら出てくるので、フォローしてもらえたら嬉しいです。」	検索ワードを声に出す。アカウント名を読み上げても誰も覚えられない
音源の告知	「 <u>〇月〇日</u> に新しい音源を出します。サブスクで解禁するので、待っていてください。」	日付を先に言う。媒体名は後
物販の告知	「終わったら <u>場所</u> に立っています。買わなくていいので、顔を見せに来てください。」	「買わなくていい」が最も物販に人を呼ぶ
次回ライブの告知	「次のライブが <u>〇月〇日</u> 、 <u>会場名</u> です。フライヤーを持って帰ってください。」	日付・会場・持ち帰るものの3点をセットで
時間が押しているとき	「(MCを丸ごと飛ばして次の曲へ)」	押しているときに足す一言は無い。削るのが正解。感謝MCだけ残す
客席が少ないとき	「今日来てくれたみなさんのために、全部やります。」	「人少ないですね」は絶対に言わない。人数に触れず、来た人だけを見る
締めの一言	「またこの場所で会いましょう。 <u>バンド名</u> でした。」	バンド名で締めると最後にもう一度名前が残る

読み上げ秒数の早見表（1分300字）

字数	時間	収まる場面
45字	約10秒	最終曲前の締め・名乗りだけ
70字	約15秒	1曲目のあとの名乗り／短い曲紹介
90字	約20秒	対バンの標準的なMC1回分
135字	約30秒	曲紹介＋ひとこと／メンバー紹介
180字	約40秒	感謝＋告知をまとめて
270字	約60秒	ワンマンの長めの1回（対バンでは長すぎる）

場面別・1回の目安

場面	目安	入れる内容
1曲目のあと（名乗り）	15～25秒	バンド名・会場名・主催への一言・曲数
中盤の曲紹介	15～30秒	曲を書いた状況だけ。意味は言わない
煽り・呼びかけ	5～10秒	1文で言い切る。長い煽りは冷める
感謝＋告知（ラスト前）	40～60秒	対バン→スタッフ→観客／次回・音源・物販
最終曲へ	10～15秒	一言＋バンド名＋曲名
ワンマンの深い話	30～60秒	転機・経緯。1公演に1回まで
アンコール	30～60秒	正直な気持ち＋次回日程
トラブルのつなぎ	20～40秒	状況説明＋別メンバーへ振る

読む前のチェック

- ☐ MCを入れる場所をセットリストに書き込んだ
- ☐ 各MCの「次の曲へ繋げる1文」を決めた
- ☐ 対バン名とPA・スタッフの名前を確認した（読み方も）
- ☐ 声に出して1回読み、秒数を測った
- ☐ 各MCの「話し始めの1文」を決めた
- ☐ 告知は1回にまとめた（次回日程・音源・物販・SNS）
- ☐ 持ち時間に対してMC合計が1割を超えていない
- ☐ トラブル時に誰が喋るかを決めた